

(1) 耐震改修工法の比較

a) 本庁舎

	在来工法 ($I_s = 0.9$ 以上)	在来工法 ($I_s = 0.75$ 以上)
補強イメージ		
工法概要	建物内部に新設耐震壁、壁厚を増す補強壁、開口閉塞を行う	建物内部に新設耐震壁、壁厚を増す補強壁、開口閉塞を行う
想定補強箇所		
補強箇所数 (1階)	新設壁27ヶ所	新設壁21ヶ所

	アウトフレーム+在来工法	制震工法
補強イメージ		
工法概要	建物外側にPCaの補強フレームを設ける + 不足する耐力を補うために、建物内部に新設耐震壁、壁厚を増す補強壁、開口閉塞を行う	建物の骨組み内にオイルダンパーを用いたブレースを取り付ける + 部分的に柱を炭素繊維(鉄板)で補強を行う
想定補強箇所		
補強箇所数 (1階)	新設柱18ヶ所、新設壁17ヶ所	制震ブレース11ヶ所、増し壁2ヶ所、柱補強11ヶ所